

科目区分	専門分野	科目名	基礎看護援助論	対象学生	第1学年
		単位数(時間数)	1単位(15時間)	学期	第2学期
担当講師	後藤 華奈子			実務経験	有
科目目標	主要症状のメカニズムから、根拠に基づいた主要症状別看護の方法を理解する。				
授業計画	<p>第1回 呼吸に関連する症状を示す対象の看護 (講義・演習)</p> <p>1. 呼吸機能障害に関連する症状のメカニズムと看護</p> <p>1) 呼吸機能のメカニズム 2) 呼吸状態のアセスメント</p> <p>3) 酸素療法(酸素吸入療法) 酸素療法中の患者の看護</p> <p>4) 排痰ケア 5) 吸入</p> <p>第2回 呼吸に関連する症状を示す対象の看護の実際 (演習)</p> <p>1. 一時的吸引(口腔・鼻腔・気管内吸引)</p> <p>第3回 循環に関連する症状を示す対象の看護 (講義・演習)</p> <p>1. 循環障害に関連する症状のメカニズムと看護</p> <p>1) 循環状態のアセスメント 2) 代表的な症状の発症メカニズムと看護(動悸、浮腫)</p> <p>第4回 栄養や代謝、排泄に関連する症状を示す対象の看護 (講義・演習)</p> <p>1. 栄養障害や代謝障害に関連する症状のメカニズムと看護</p> <p>1) 栄養状態のアセスメント 2) 排泄機能のアセスメント</p> <p>3) 代表的な症状の発症メカニズムと看護</p> <p>第5回 活動や休息に関連する症状を示す対象の看護 (講義・演習)</p> <p>1. 身体的不活動と休息障害に関連する症状のメカニズムと看護</p> <p>1) 運動機能障害のアセスメント</p> <p>2) 代表的な症状の発症メカニズムと看護(ADLの自立困難、活動耐性低下、睡眠障害)</p> <p>3) 安楽な体位の調整</p> <p>第6回 認知や知覚に関連する症状、安楽に関連する症状を示す対象の看護 (講義)</p> <p>1. 認知や知覚、安楽に関連する症状のメカニズムと看護</p> <p>1) 認知機能に関連するアセスメント</p> <p>2) 代表的な症状の発症メカニズムと看護(意識障害、感覚障害、言語障害)</p> <p>3) 安楽に関連する症状のアセスメント</p> <p>4) 代表的な症状の発症メカニズムと看護(疼痛、倦怠感、搔痒感)</p> <p>第7回 安楽に関連する症状を示す対象の看護の実際 (演習)</p> <p>1. 電法(温電法、冷電法)</p> <p>第8回 終了試験</p>				
評価方法	筆記試験(80%)、演習への参加度(20%)で総合的に評価				
テキスト	<p>系統看護学講座 基礎看護学 [4] 臨床看護総論 医学書院</p> <p>系統看護学講座 基礎看護学 [3] 基礎看護技術II 医学書院</p> <p>看護技術プラクティス第4版 学研</p> <p>NEW 看護過程に沿った対症看護-病態生理と看護のポイント 学研</p>				
講師からのメッセージ	<p>主要症状別看護については、それぞれの症状のメカニズム(発生機序や特徴)から、対象が困っていることは何かを考え、根拠に基づいた対象への看護について学ぶ。</p> <p>提示された動画をとおり対象の状況をイメージした上で、事前にテキストを読み、授業には主体的に参加することを期待する。国家試験出題基準を確認し学習すること。</p>				